

県とNPOとの協働事業提案」が採択されました

「県とNPOとの協働事業提案」の平成18年度実施事業として、5事業を採択しました。

県が昨年度設置した「ボランティア・NPO活動推進基金」を財源に、県とNPOが「協働」で事業実施し、県民に一層効果的で質の高いサービスを提供できる事業案を6月1日から公募、応募があった17事業について、第1次審査と審査委員会による第2次審査（公開プレゼンテーションを含む）を行って決定したものです。審査結果等は、下記のとおりです。



<概要>

県から提示するテーマによる事業又は自由なテーマによる事業で、平成18年度に実施する具体的な協働事業についての提案を募集。

募集期間 平成17年6月1日 ~ 平成17年6月30日

県から提示したテーマ 22テーマ

応募数 県から提示したテーマ 13事業 自由なテーマ 4事業

採択件数 5団体 5テーマ 5事業 下表参照

審査

- ・第1次審査 : 平成17年 8月 9日
- ・第2次審査（公開プレゼンテーション）: 平成17年 9月 4日
- ・第2次審査（審査委員会） : 平成17年 9月 8日

番号	1	2	3	4	5
募集テーマ	観光交流プログラムの創出	県民が人権について主体的に学べる学習機会の提供	我がまちの景観づくり・まちづくりの推進	奈良県キャリア教育プランの推進	軽度発達障害のある子どもとその保護者に対する支援体制の構築と理解啓発
事業名	大和「風景フットパス」整備構想	2006人権啓発・教育コーディネーター養成講座	三輪地域における地域に根ざした景観まちづくりの推進	高校インターンシップの推進	特別支援教育ボランティア養成講座
応募団体名	夢咲塾 代表 中山 雅子	NPO法人ほっと 理事長 伊藤 満	森とふれあう市民の会 代表 栄嶋まゆみ	NPO法人キャリアサポートセンター奈良 理事長 山田政利	NPO法人 あるふぁ 理事長 山下 力
事業概要	大和高田市市内における隠れた観光資源の発掘を地域住民を巻き込んで行い、「大和風景フットパス(散策道の意味)」ルートの開発やマップ作成を行う。	人権啓発・人権教育コーディネーターの養成講座を開催し、地域で活動するコーディネーターを養成する。さらに教材作りや参加者同士のネットワーク作りを行い人権教育の推進に努める。	平成17年度実施分で採択された「地域に根ざした景観計画の作成」を引き継ぎ、市民向けの景観教育講習会や住民参加のワークショップを開催し、三輪地域における景観ガイドラインを作成し、地域住民が主体となる景観作りを行う。	学校及び企業への高校生インターンシップに関する調査を行い、地域の人材育成につながるようなインターンシッププログラムの策定を学校・企業と協働で行う。	平成19年度に「特別支援教育」実施が求められることから、軽度発達障害児(学習障害・多動性障害等)の支援のため、教員OBなどを対象にボランティア養成講座を開催する。同時にビデオやHPを作成し、同様の講習会のための教材とする。
担当課	観光課	人権施策課	風致保全課	学校教育課	教育研究所